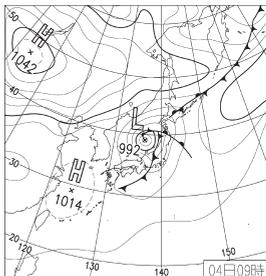


日々の天気図

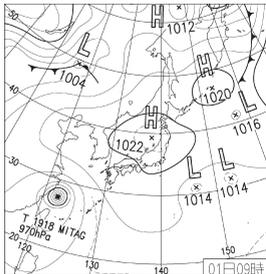
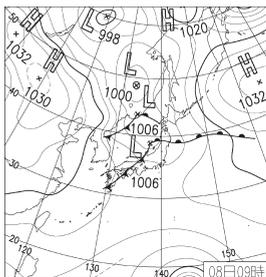
— No. 213
2019年10月

- ・3日、台風第18号により広い範囲で大荒れ、九州や四国で猛烈な雨。
- ・12～13日、台風第19号により東日本～東北の広い範囲で記録的な大雨と暴風、13郡県に大雨特別警報、河川氾濫が相次ぐ等、大きな被害等。
- ・25日、関東～東北で大雨、千葉県や福島県で河川氾濫、土砂災害等。
(気象庁予報部予報課)



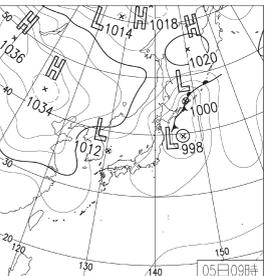
4日(金)各地で暖かい朝

日本海の低気圧や前線の影響で、山陰や北陸、北日本は雨。関東も午前中雨。全国的に気温が下がらず、秋田20.3℃など東～北日本の111地点で10月の日最低気温の高い記録に。



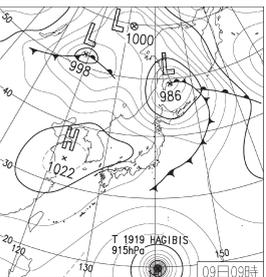
1日(火)各地で10月1位の暑さ

高気圧に覆われ、東～北日本は晴れ。台風第18号や湿った空気の影響で西日本は曇りや雨。最高気温34.0℃の大坂府枚方をはじめ、全国80を超える地点で10月1位の暑さに。



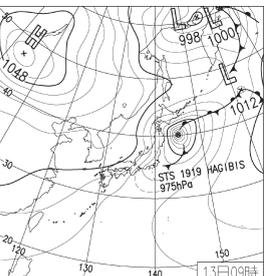
5日(土)東京は真夏日に

北日本は前線を伴った低気圧の影響で雨や曇り。山陰～北陸は低気圧の接近で夜には所々雨。その他は概ね晴れ。関東は真夏日の地点多く、最高気温が10月1位の値となった所も。



6日(日)北海道で氷点下

関東～東北は低気圧の影響で午前中を中心に雨。山陰～北陸は寒気の影響で所々雨。北海道は高気圧に覆われ、穏やかに晴れて冷え込みが強まり、最低気温が氷点下の冬日の所も。



8日(火)広い範囲で雨

日本海と沿海州に低気圧があって、日本付近は気圧の谷。低気圧や前線の影響で、西日本～北日本は広い範囲で雨。九州は次第に高気圧に覆われて午後には晴れた所も。



9日(水)岩手山初冠雪

オホーツク海の低気圧の影響で、北海道は午前中を中心に雨。北海道の上空約5500mに-21℃以下の寒気が入り大気の状態が不安定で、稚内ではひょうを観測。沖縄～東北は晴れ。



10日(木)全国的に晴れ

朝鮮半島と三陸沖の高気圧に覆われ、全国的に晴れ。北日本中心に冷え込み、岩手県数川は氷点下に。大型で猛烈な台風第19号は日本の南を北上。父島で最大瞬間風速39.2m/s。

11日(金)非常に強い台風が北上

大型の台風第19号が非常に強い勢力で日本の南を北上。台風周辺の雨雲や前線の影響で東日本～東北を中心に雨。東京都八重見ヶ原では最大瞬間風速37.0m/s。

12日(土)東日本と東北、特別警報

台風第19号が伊豆半島に上陸。東日本と東北に大雨特別警報。神奈川県箱根の日降水量92.5mmは全国の史上1位を更新。東京都羽田の日最大風速34.8m/sは史上1位を更新。

13日(日)東北で猛烈な雨

三陸沖を北上する台風第19号の影響で北日本は朝にかけて雨。岩手県昔代で未明に95mm/1hの猛烈な雨。静岡県～関東は台風一過の青空。静岡県三島32.9℃など季節外れの暑さ。

14日(月)北海道で初氷

朝晴れた北海道では放射冷却により気温が下がり、多くの地点で最低気温が氷点下。帯広、釧路、旭川で初氷観測。西日本で晴れた所がある他は低気圧や前線の影響で曇りや雨。

15日(火)東京都母島で激しい雨

大陸から張り出す高気圧に覆われ晴れた所多いが、日本海側は寒気が入り山陰～北陸は所々で雨。北東から湿った空気が入った関東も曇りや雨。東京都母島で42.5mm/1hの激しい雨。

16日(水)四国で非常に激しい雨

南からの湿った空気の影響で西日本は雨。大気の状態が不安定で高知県宿毛では58.5mm/1hを観測。全国的に最高気温が高く、特に北日本では103地点で10月の1位を記録。

17日(木)高知県で大雨

台風第18号は日本海で温帯低気圧に。南から暖かく湿った空気が入り高知県を中心に大雨。高知県紫藤の日降水量は10月1位の287.5mm。松山の最高気温33.3℃は10月1位。

18日(金)高知県で大雨

台風第18号は日本海で温帯低気圧に。南から暖かく湿った空気が入り高知県を中心に大雨。高知県紫藤の日降水量は10月1位の287.5mm。松山の最高気温33.3℃は10月1位。

19日(土)東日本と東北、特別警報

台風第19号が伊豆半島に上陸。東日本と東北に大雨特別警報。神奈川県箱根の日降水量92.5mmは全国の史上1位を更新。東京都羽田の日最大風速34.8m/sは史上1位を更新。

20日(日)東北で猛烈な雨

三陸沖を北上する台風第19号の影響で北日本は朝にかけて雨。岩手県昔代で未明に95mm/1hの猛烈な雨。静岡県～関東は台風一過の青空。静岡県三島32.9℃など季節外れの暑さ。

21日(月)北海道で初氷

朝晴れた北海道では放射冷却により気温が下がり、多くの地点で最低気温が氷点下。帯広、釧路、旭川で初氷観測。西日本で晴れた所がある他は低気圧や前線の影響で曇りや雨。

22日(火)東京都母島で激しい雨

大陸から張り出す高気圧に覆われ晴れた所多いが、日本海側は寒気が入り山陰～北陸は所々で雨。北東から湿った空気が入った関東も曇りや雨。東京都母島で42.5mm/1hの激しい雨。

23日(水)四国で非常に激しい雨

南からの湿った空気の影響で西日本は雨。大気の状態が不安定で高知県宿毛では58.5mm/1hを観測。全国的に最高気温が高く、特に北日本では103地点で10月の1位を記録。

24日(木)高知県で大雨

台風第18号は日本海で温帯低気圧に。南から暖かく湿った空気が入り高知県を中心に大雨。高知県紫藤の日降水量は10月1位の287.5mm。松山の最高気温33.3℃は10月1位。

25日(金)高知県で大雨

台風第18号は日本海で温帯低気圧に。南から暖かく湿った空気が入り高知県を中心に大雨。高知県紫藤の日降水量は10月1位の287.5mm。松山の最高気温33.3℃は10月1位。

26日(土)東日本と東北、特別警報

台風第19号が伊豆半島に上陸。東日本と東北に大雨特別警報。神奈川県箱根の日降水量92.5mmは全国の史上1位を更新。東京都羽田の日最大風速34.8m/sは史上1位を更新。

27日(日)東北で猛烈な雨

三陸沖を北上する台風第19号の影響で北日本は朝にかけて雨。岩手県昔代で未明に95mm/1hの猛烈な雨。静岡県～関東は台風一過の青空。静岡県三島32.9℃など季節外れの暑さ。

28日(月)北海道で初氷

朝晴れた北海道では放射冷却により気温が下がり、多くの地点で最低気温が氷点下。帯広、釧路、旭川で初氷観測。西日本で晴れた所がある他は低気圧や前線の影響で曇りや雨。

29日(火)東京都母島で激しい雨

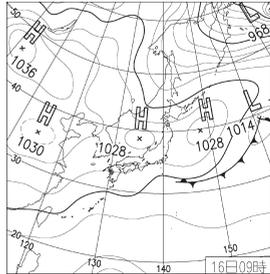
大陸から張り出す高気圧に覆われ晴れた所多いが、日本海側は寒気が入り山陰～北陸は所々で雨。北東から湿った空気が入った関東も曇りや雨。東京都母島で42.5mm/1hの激しい雨。

30日(水)四国で非常に激しい雨

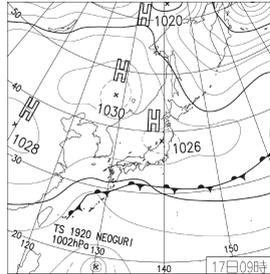
南からの湿った空気の影響で西日本は雨。大気の状態が不安定で高知県宿毛では58.5mm/1hを観測。全国的に最高気温が高く、特に北日本では103地点で10月の1位を記録。

31日(木)高知県で大雨

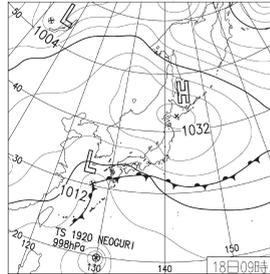
台風第18号は日本海で温帯低気圧に。南から暖かく湿った空気が入り高知県を中心に大雨。高知県紫藤の日降水量は10月1位の287.5mm。松山の最高気温33.3℃は10月1位。



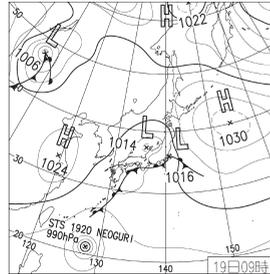
16日(水)札幌と網走で初霜
沖縄・奄美や関東は湿った空気の影響で所々雨。北海道は気圧の谷の通過で午後は雨の所も。北日本は冷え込みが強まり、北海道陸別の最低気温は-4.9℃で11月中旬並。



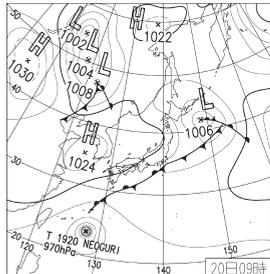
17日(木)沖縄で非常に激しい雨
東シナ海～本州の南に停滞する前線や湿った空気の影響により全国の所々で雨。沖縄県国頭70mm/1hは10月1位更新。釧路市でカエド紅葉、全国最早。北陸～東北は概ね晴れ。



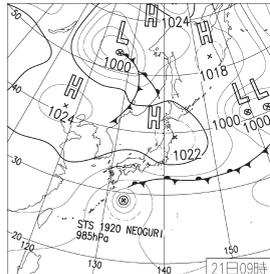
18日(金)西日本に前線停滞
沖縄・奄美～東北南部は広く雨。九州や四国、紀伊半島では大雨。三重県尾鷲の日降水量は563mm、東北北部と北海道は移動性高気圧に覆われて概ね晴れ。札幌で初氷を観測。



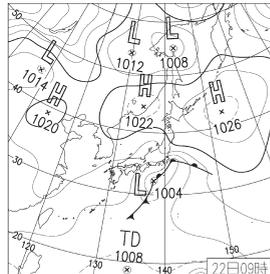
19日(土)全国的に天気崩れる
低気圧や前線の影響で雨の降った所が多く、西～東日本では雷を伴い激しい雨の所も。石川県羽咋は10月1位の36.5mm/1h。三重県阿児は観測史上1位の99mm/1hの猛烈な雨。



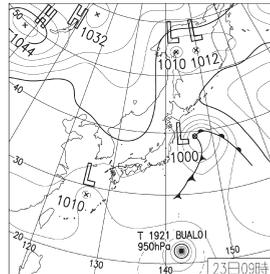
20日(日)台風第20号沖縄に接近
黄海の高気圧が日本海に張り出し、西日本～北日本は晴れや曇り。夜には台風第20号が南大東島近海を北東進。沖縄・奄美は風や雨が強まり、南大東で最大瞬間風速29.5m/s。



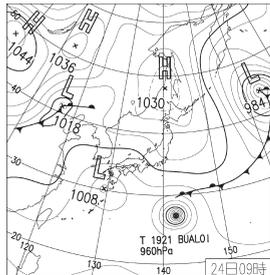
21日(月)台風が四国の南を北上
日本の南に停滞する秋雨前線や台風第20号の影響で、西日本～東日本の太平洋側を中心に雨。沖縄・奄美も午前中は雨。東北北部～北海道は三陸沖の高気圧に覆われ概ね晴れ。



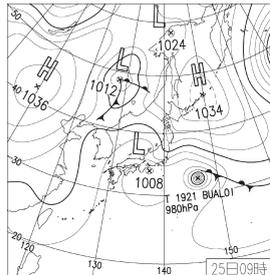
22日(火)東日本で大雨
台風第20号から変わった低気圧と前線の影響で東日本を中心に大雨。東京都三宅島で89.5mm/1hの猛烈な雨。風も強く東京都三宅坪田で最大瞬間風速32.4m/s。富士山初冠雪。



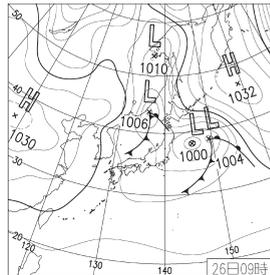
23日(水)西から天気下り坂
東シナ海で発生した低気圧が九州に接近。西日本の天気は下り坂で、奄美～九州は雨。鹿児島県笠立で日降水量147mm、東日本～北日本は高気圧に覆われて概ね晴れ。



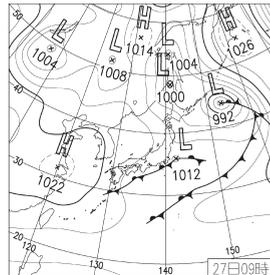
24日(木)小笠原諸島に台風接近
九州の南の低気圧により西日本では大雨となった所も。高知県室戸岬の日降水量264mmは10月1位の値。強い台風第21号が接近した父島は最大瞬間風速52.7m/sを観測。



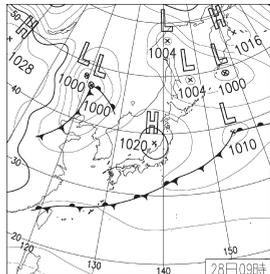
25日(金)千葉県中心に大雨
低気圧が東海から関東沿岸を通過し、湿った空気が入って東日本～東北南部で大雨。千葉県の日降水量は、午久285mmが10月1位、佐倉248mmが史上1位。千葉県内で被害相次ぐ。



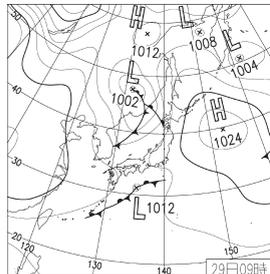
26日(土)関東～東北で気温上昇
三陸沖と日本海北部の低気圧及び前線の影響で北日本は雨や曇り。西日本～東日本は次第に晴れ。関東～東北を中心に気温が上がり、最高気温が9月下旬並の所も。



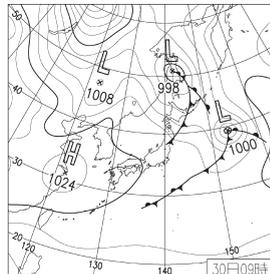
27日(日)東～北日本の天気回復
東日本～北日本は、湿った空気や気圧の谷の影響で日本海側中心に広い範囲で雨。気圧の谷通過後は西から高気圧が張り出し次第に晴れや曇りに。西日本は概ね晴れ。



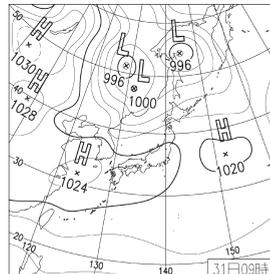
28日(月)日中は全国的に晴れ
東シナ海と日本海の2つの移動性高気圧に覆われて、日中は広く晴れ。本州南岸の停滞前線の影響で、伊豆諸島は雨。奄美～四国太平洋側では夜に雨。白山で初冠雪。



29日(火)全国的に雨
低気圧や前線の影響で沖縄から東北にかけて雨。西日本は次第に高気圧に覆われ、午後には晴れた所も。北海道は寒冷前線が接近し夜は雷雨に。金沢市と札幌市でイチョウ黄葉。



30日(水)西日本～東日本に黄砂
西日本～東日本は東シナ海から張り出す高気圧に覆われて晴れ。関東では未明から朝にかけて広範囲で霧。寒冷前線が通過した北日本は午前中曇りや雨だが午後には晴れた所も。

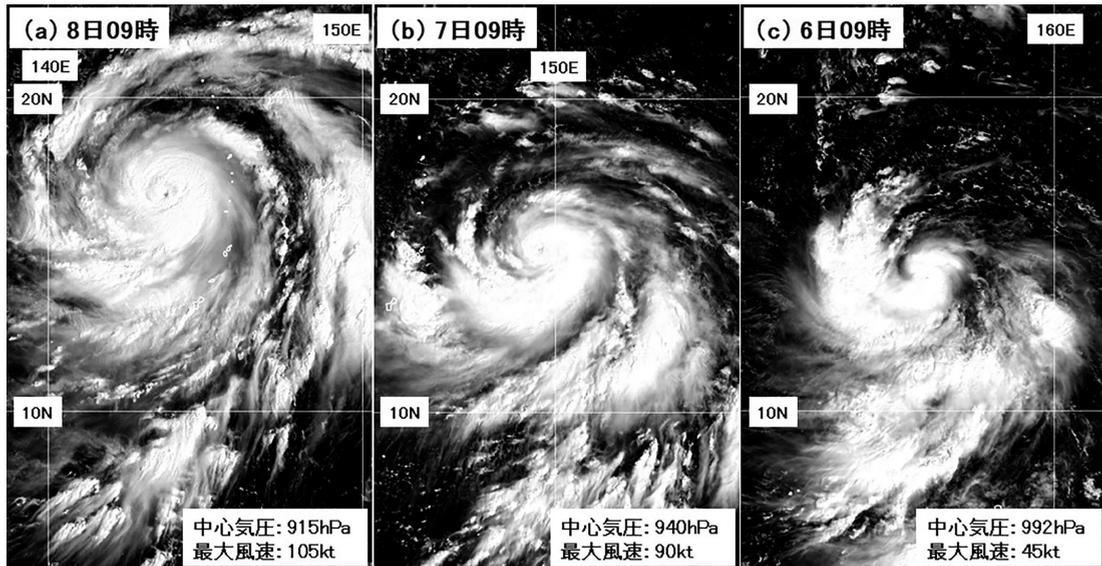


31日(木)高気圧に覆われる
東シナ海の高気圧に広く覆われ、西～東日本は概ね晴れ。沖縄は湿った空気の影響で曇りの所も。北日本は中国東北区から東進した低気圧や寒冷前線の影響で次第に曇りや雨。



今月のひまわり画像—2019年10月

甚大な被害をもたらした台風第19号の発生直後の急発達



第1図 2019年10月6日09時～8日09時（日本時間）の24時間毎の台風第19号の可視画像。

台風第19号は、2019年10月12日19時（日本時間）前、大型で強い勢力で伊豆半島に上陸した後、関東地方を通過し、13日未明に東北地方の東海上に抜けた。この台風の通過に伴い、広範囲で記録的な大雨となり、河川の氾濫などによる浸水範囲は昨年「西日本豪雨」を超えたほか、土砂災害も一つの台風によるものとしては近年例を見ないほど多数発生し、甚大な被害（死者・行方不明者101名（内閣府非常災害対策本部、11月25日））をもたらされた。

台風第19号の特徴の一つとして、発生直後の急発達があげられる。第1図は6日09時～8日09時の24時間毎の第19号の可視画像である。この台風は6日03時に南鳥島近海で発生した後、亜熱帯高気圧の南側の縁を沿うように西進し、海面水温が30℃以上と高く、また風の鉛直シアの比較的小さかった南鳥島近海からマリアナ諸島にかけての海域において急発達した。台風周辺の雲域を時系列で追うと、発生直後の6日09時（第1図c）頃から雲バンドが円形度を増しながら伸長し始めた。7日09時（同図b）頃には雲バンドの長さが1周以上となり、中心では明瞭な眼と円形の濃密

な壁雲が形成され始めた。その後、眼はさらに明瞭化し、同日12時頃にはピンで突き刺したような眼が見られるようになった。8日09時（同図a）は6時間前に比較して中心付近の雲頂高度が低下し、眼はやや不明瞭となったが、二重の様相を呈していることを確認できる。また、衛星画像の動画によると、この期間、中心付近では発達した雲域の拡大と共に、上層における高気圧性曲率の吹き出しが顕著であった。

第19号は、7日21時には最盛期にあたる中心気圧915hPa、最大風速105kt（1kt≒0.51m/s）が解析された。この台風は発生からわずか42時間で最盛期のステージに入ったことになるが、静止気象衛星の本格的な観測が開始された1978年以降、発生直後の42時間に中心気圧が85hPa降下した台風は他に例がなかった（第2位は1983年第4号：78hPa、第3位は2013年第11号：77hPa）。今回の第19号は北上するにつれ、強さは10日21時以降次第に弱まったが、大きさは9日21時～12日00時をピークに拡大し、その後、水平スケールをほとんど変えないまま本州に向かった。

（気象庁予報部予報課 木下 仁）